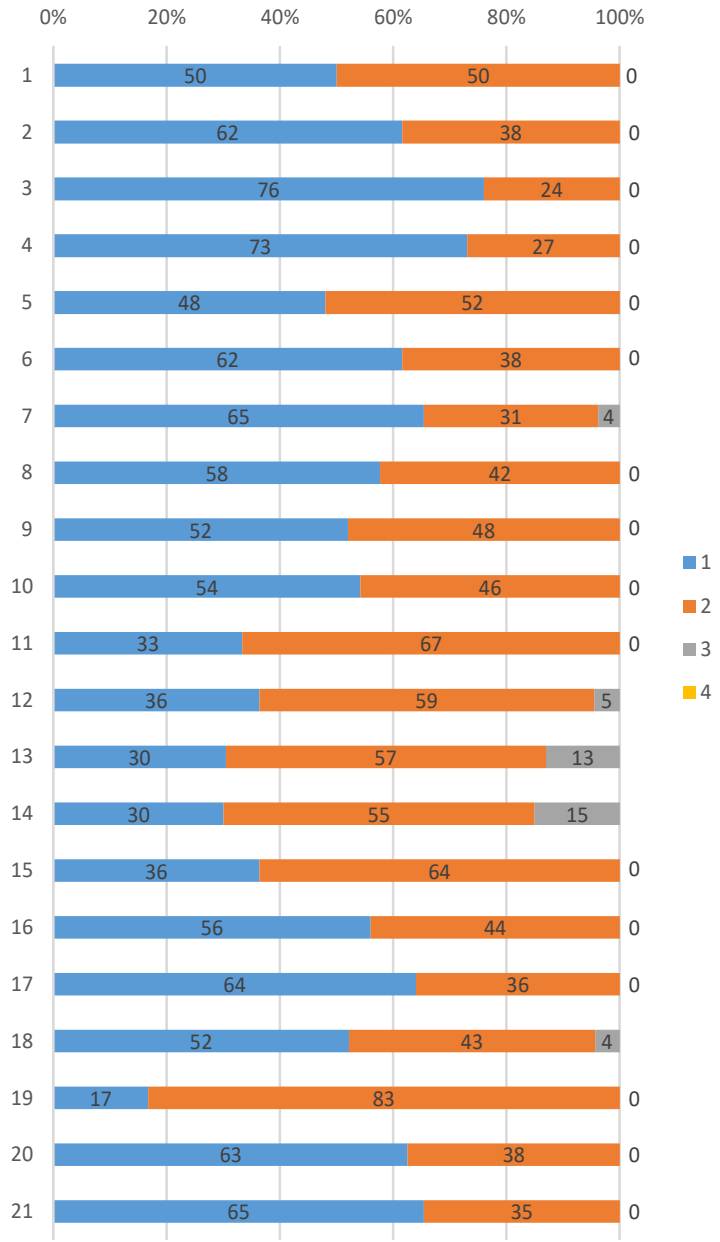
平成30年度 学校評価のためのアンケート（教職員用）

1 よくあてはまる　　2 ある程度あてはまる
3 あまりあてはまらない　　4 全くあてはまらない

		診断内容
学校運営・管理	1	学校運営に、教職員の意見や願いが反映されていますか。
	2	教職員は、使命感をもって勤務し、個性や能力を生かし、教育専門職としての資質と指導力を身に付けようと努めていますか。
	3	教職員間の相互理解が十分になされ、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができていますか。
	4	管理職や主任は、リーダーシップを発揮し、教職員や児童に対して適切な指導・支援を行っていますか。
	5	教育目標の具現化に向けて、学校としての方針の下、計画・実践・評価・改善を繰り返し、適切な方策がなされていますか。
	6	現職教育は、教職員の教養を高め、日々の指導に役立つ実践的な取組になっていますか。
	7	教職員は、安全に対する意識が高く、施設設備の点検に努め、事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処をしていますか。
	8	教職員は、ＰＴＡの一員としてＰＴＡ活動（学年ＰＴＡや奉仕作業・バザー等）に積極的に関わり、成果を上げていますか。
	9	施設設備や教材備品等の状況を把握し、学校として適切な購入計画に基づいた物品購入に努めていますか。
	１０	個人情報の保護の観点から、児童に関する個人情報の管理システムが確立し、実践できていますか。
教育活動	１１	児童に学ぶ楽しさを味わわせるために、分かる授業の展開に努めることができましたか。
	１２	基礎・基本の定着を図るために、個に応じたきめ細やかな指導の工夫に努めることができましたか。
	１３	「学び」の充実を図るために、地域教材や地域ボランティア（外部指導者）などの活用に努めることができましたか。
	１４	特に配慮や支援を要する児童の学力向上のために、すくすくシートの活用や幼保小中間の連携に努めることができましたか。
	１５	体力・気力の向上のために、楽しさと豊かな運動量のある体育の授業の実践に努めることができましたか。
	１６	食育の推進や保健指導の充実のために、栄養士や養護教諭との連携を図り、指導の実践に努めることができましたか。
	１７	児童や教職員の危機回避能力の育成と向上を図るために、関係諸機関と連携しながら避難訓練や安全教室、研修等を実践することができましたか。
	１８	児童に豊かな心を育てるために、道徳授業を始めとする道徳教育の推進に努めることができました。
	１９	生命や人権を尊重する心の育成や自己有用感の醸成を図るために、「山本有三の精神」に学ぶ心の教育の充実に努めることができましたか。
	２０	いじめを許さない、仲間意識の強い集団を育成するために、特別活動や教育相談の充実に努めることができましたか。
	２１	教育活動の実践において、共通理解に努め、『チーム三小』として、全教職員が個性や能力を発揮し、業務の効率化に努めていますか。
学校運営・教育活動に対する意見、具体策等